

# この朝顔は、明後日朝顔プロジェクト 「ながら」(岐阜県美術館)より、 受け継いだタネで育てています。

## 《明後日朝顔プロジェクトとは》

2003年に新潟で開催された「大地の芸術祭 越後妻有トリエンナーレ」において、アーティスト・日比野克彦が新潟県十日町市筋平の集落の住民たちと共に始めた朝顔を育てるかたちで始まったのが「明後日朝顔プロジェクト」です。

そして2005年に水戸で開催された日比野の個展を機に初めて朝顔の種が運ばれ、2006年には福岡や太宰府、岐阜に運ばれました。その後も日比野克彦の各地での活動に呼応するかのよう朝顔の種は全国へと運ばれ、朝顔の種が人と人、人と地域、地域と地域とが繋がる大きなネットワークの橋渡しとなっています。

朝顔の育成を通して、人と人・人と地域・地域と地域のコミュニケーションを促し、現代社会に於ける人と地域の関係の検証、人と人の関係性の中から創造されてくるカタチを芸術の根本と捉え、社会の中における芸術の機能性・多様性を試みています。

## 明後日朝顔の7つの気持ち

- 1 種を収穫した時に芽生える、記憶を形にした不思議な気持ち。
- 2 種を蓄えている時に感じる、待つ時間を楽しむ気持ち。
- 3 種を送る時に思う、地域と地域がつながる気持ち。
- 4 種を土に植えた時に思う、見えないものを信じる気持ち。
- 5 蔓がロープに巻きついた時に感じる、ホッとした気持ち。
- 6 花が開いた時に感じる、声をかけたくなる気持ち。
- 7 種の床ができた時に生まれる、  
これまでとこれからが繋がる気持ち。

### 種を収穫した土地の履歴書

2024

(大垣市サイトピアセンター)



2023	ながら (大垣市民会館)
2022	ながら (大垣市民会館)
2021	ながら (大垣市民会館)
2020	ながら
2019	水戸
2018	水戸
2017	水戸
2016	水戸
2015	水戸
2014	水戸
2013	水戸
2012	水戸
2011	水戸
2010	水戸
2009	水戸
2008	水戸
2007	水戸
2006	水戸
2005	水戸
2004	筋平
2003	筋平